

出産後から数十年続いた全身症状と手の浸出を経て日常生活が戻った高齢者アトピーの経過 (61 歳 女性)

症例 ID：001-60-T1 | 記録日：1997 年 6 月頃

1. 診断・治療前経過

長男出産後に手の水疱とかゆみが始まり、外用薬と内服薬を繰り返す中で手背、腕、背部、下肢へ広がりました。妊娠・育児期には全身の約 3 分の 2 に湿疹がありました。

長期間の治療中に手は腫れて浸出性となり、家事には綿手袋とビニール手袋が必要でした。50 歳頃には網膜剥離で右眼を失明し、左眼も手術を受けました。松本医院受診時にはステロイド中止から 10 年以上経過していました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	長年にわたりステロイド外用薬と内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	長男出産後から長期間使用し、松本医院受診の 10 年以上前に中止しました。
中止時期	松本医院受診の 10 年以上前です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
長男出産後	発症	手に水疱、強いかゆみ、浸出液が出ました。
その後数十年	症状拡大	手から腕、背部、下肢へ広がり、外用・内服治療を続けました。
妊娠・育児期	生活への影響	全身の広範囲に症状があり、手袋を重ねて家事と育児を行いました。
50 歳頃	眼疾患	網膜剥離で手術を受け、右眼を失明しました。
ステロイド中止後 10 年以上	松本医院受診	治療方針を変更し、長期的に経過をみました。
記録時点	改善傾向	皮膚は徐々に整い、家族と通常生活を送れる状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、手が腫れて浸出液と亀裂が続き、痛みとかゆみのため家事や育児が著しく困難となった時期です。

5. 困りごと

- 手の痛みとかゆみにより、綿手袋とビニール手袋を重ねて家事を行いました。
- 育児と通院、自身の皮膚症状が重なり、家族や支援者の助けが必要でした。
- 眼疾患による入院・手術と視力障害も重なりました。

6. 経過のまとめ

長期経過の中で皮膚状態は徐々に整い、記録時点では家族と日常生活を送っていました。

残る症状と付き合いながらも、以前より前向きに生活できる状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。